

## モニタリング結果報告書

**施設** 座間谷戸山公園  
**指定管理者** 公益財団法人神奈川県公園協会  
**施設所管課** 厚木土木事務所東部センター

(平成 23 年度 下半期)

### 管理運営状況総括

**1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえ、判定してください）**

B

＜判定理由＞

本公園の資源、魅力を生かしたイベントを計画に基づき多数行い公園利用者数の増加に向けて努力している。

また、突発的な台風対応についても予算の範囲で適宜対応し、良好な収支状況であり、苦情要望対応についても問題ないことからB判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

**2 月例報告書によるモニタリングの概況**

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11/10	11/14	○	○	×	なし	台風の影響による倒木についての対応を指定管理者と調整
11月	12/9	12/15	○	○	×	なし	公園まつりの状況等詳細についてヒアリング
12月	1/10	1/19	○	○	×	なし	来園者数の状況や植物管理の予定等について確認
1月	2/10	2/21	○	○	×	なし	園内で積雪があったので、安全管理等について確認
2月	3/9	3/13	○	○	×	あり	公園利用者数の実績調書について集計に誤りがあり修正依頼
3月	4/10	4/27	○	○	×	なし	東部センター発注工事、指定管理者発注工事の完了後の使用状況等について確認

### 3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。〕

#### <提案内容の概要>

- ① 本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため県民や市民団体と協働や連携して調査、保全活動を推進する。
- ② 木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃、補修等を行い来園者の安全確保に努めるとともに防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。
- ③ 朝礼でのあいさつ唱和や研修を通じて来園者への気持良い対応に努めるとともにアンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- ④ 利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに里山の自然や文化への探求心を深めるための新たなイベントを実施する。また、最大のイベントである「谷戸山公園まつり」を円滑に実施する。
- ⑤ 地震対応訓練を行う。

#### <実施状況>

- ① 月例の運営会議を実施するとともに、市民団体と協働で山野草・ホタル・カエル等の生息調査を実施した。また、里山環境の保全、整備活動を市民団体と協働でほぼ毎月行った。
  - ・運営会議（6回）
  - ・里山保全隊（5回）
- ② 園内巡視は毎日行い、清掃や必要に応じて支障木の処理、施設補修等を行った。特に、台風15号の被害木処理について引き続き県と協議しながら実施し、事故防止に努め、来園者の安全を第一に実施した。
- ③ 毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行い、よりよい接遇に努めるとともに、常設のアンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努めた。
- ④ 利用促進方策として、従来のイベントである「米作り隊」「自然観察会」等を継続するとともに当公園の最大のイベントである第17回谷戸山公園まつりを市民団体と協働で行った。また、新たな事業として高齢化森林の若返りを図る「樹林地整備地」の保育管理に取り組んだ。
  - ・11月27日 第17回谷戸山公園まつり～里山で秋の収穫をいわおう～
  - 来園者 5,500名 関係スタッフ 500名新たな行事として実施している「やとやま講座」については、内容を検討して計6回実施し、「みちくさ広場」の生き物のモニタリングは市民団体とともに行った。
- ⑤ 東口広場は市の広域避難場所に指定されていることから、大規模地震に備え、市の協力を得て12月に消防訓練を行った。

#### <提案内容の概要（事業実施以外の提案）>

- ① 安全管理方策として樹林地の枯損木や倒木事故防止の重点点検を行う。
- ② 業務の効率化コスト削減を図る。

#### <実施状況（事業実施以外の提案）>

- ① 台風15号による被害木の処理については、引き続き県との協議のうえで順次進め、事故防止に努めた。
- ② 大震災による節電対策として、園内及び室内の間引き照明や井戸ポンプ運転時間の短縮等の取り組みを継続し、電気料金を前年度比で平均20%削減した。

4 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	収入合計	指定管理料	利用料金	その他収入		
年間予算額						
今期 (前期)	59,000 (59,000)	59,000 (59,000)	0	0	59,000 (59,000)	0 (0)
下半期 予算額	29,650	29,650	0	0	30,853	△1,203
10月	4,462	4,462	0	0	4,913	△451
11月	4,273	4,273	0	0	4,878	△605
12月	7,126	7,126	0	0	6,978	148
1月	5,332	5,332	0	0	3,916	1,416
2月	3,843	3,843	0	0	5,236	△1,393
3月	4,614	4,614	0	0	4,930	△316
今年度 半期計	29,650	29,650	0	0	30,851	△1,201
前年度 同期計	30,983	30,983	0	0	32,590	△1,607

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ①年間予算額における収支差額が0でない場合は、その理由を記載する。  
 ②今年度半期計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し詳細に記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。  
 ③今年度半期計における収入額又は支出額が前年度対比30%以上プラス又は、マイナスとなっている場合は、理由を分析し、詳細に記載する。

<意見等>

①～③ 該当なし

<参考>

本施設について県が支出した（する）修繕費等

30万円以上の修繕費等については、県が支出することと基本協定で定めている。施設の状況をより的確に把握するため、県が支出した修繕費等についても参考に記載している。

- 1 県が支出した施設の修繕費等の金額及び工事内容を記載する。
- 2 「金額」欄は、半期ごとの総額を記載し、「工事箇所・内容」欄には、主な工事とその金額をカッコ書きで記載する。

	金額	工事箇所・内容
上半期	—	
下半期	5,901千円	園内樹木伐採工（4,462千円） 階段補修工（945千円） 池水漏れ補修工（494千円）
総額	5,901千円	

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

⇒該当なし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

## 5 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
10月	38,219人	35,567人	7.5%
11月	37,861人	37,633人	0.6%
12月	25,377人	28,818人	△11.9%
1月	25,046人	29,668人	△15.6%
2月	26,179人	26,480人	△1.1%
3月	27,497人	25,088人	9.6%

	目標利用者数	利用者数	前年同月利用者数	目標対比増減率	前年対比増減率
今年度上半期計	人	195,598人	204,783人	%	△4.5%
今年度下半期計	人	180,179人	183,254人	%	△1.7%

### 利用状況に関する意見等

①今年度上（下）半期計の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由及び対応策を分析し記載する。（特に、理由の記載にあたっては、各月の状況を分析し、わかりやすく具体的に記載する。）

②目標利用者数を下回った場合は、その理由を記載する。

なお、目標利用者数を定めていない場合は、未記入もやむを得ないが、次回以降は記入する。

<意見等>

①② 該当なし

## 6 苦情・要望等の状況

受付件数（うち施設所管課受付分）

上半期報告	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
合計	7（）	1（）	3（）	4（）	6（）	21（）

## 7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなど、特に注意すべき場合に記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
	・	
その他	・「伝説の丘」から望める大山をはじめとした山の名、標高・山の特徴、丘からの直線距離などを記したイラスト案内図を丘に立ててみてはどうか、伝説の丘からの眺めがいっそう充実します。	・山並み写真の看板を設置した。多くの来園者から好評をいただいた。
	・	

## 8 事故や不祥事等の発生状況

（利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。）

⇒該当なし

発生日	事故の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)
月 日			
月 日			
月 日			

9 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

⇒該当なし

実施日 (事故発生日)	対応者等	経緯・調査内容	調査結果(指定管理者の課題の有無等を含む)
月 日 (月 日)			
月 日 (月 日)			

10 下半期の所見等

〔 2～9の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来園者は、大震災等の影響からの改善傾向が見られ、公園まつり、米作り隊、観察会等の主催イベントでは例年通りの参加を得られた。</li> <li>・ 照明の間引き、自動ドアの手動化等で節電を行い、前年度比で平均20%の削減を継続した。</li> <li>・ 長屋門の塗装、池の一部の浚渫、園路の補修等経年劣化に伴う施設補修等を行ったが引き続き、土木事務所と調整しながら対応した。</li> <li>・ 高齢森林の更新モデル地区の保育管理を市民ボランティアと協働で実施した。また、昨年の台風被害木の処理を県と協議の上で進めるとともに、里山保全活動を主催し、適正な里山管理を行った。</li> </ul>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園利用者数は上半期当初は震災の影響から減少傾向であったが、下半期の秋(10月)、春(3月)に昨年より2,000人以上増加しているため、イベント等による利用者増に繋がる取り組みを実施するなど、努力した結果が見られる。</li> <li>・ 自然生態観察公園である本公園は台風により相当数の倒木があったため、優先順位をつけ指定管理者と協議して進めたことから、危険木については概ね処理ができた。今後は里山としての適正な樹林地が形成できるよう、引き続き指定管理者と協議することが必要である。</li> <li>・ 施設の経年劣化による補修については、県発注により井戸ポンプの改修、園路の舗装補修等実施したが、今後も公園利用者からの要望を指定管理者と情報を共有し、協議しながら順次計画的に対応していく必要がある。</li> </ul>